

自社制作番組の全国への展開と インターネット配信の取組みについて



あしたへ。
ユメミル、チカラ **6**  HTB

2023年3月22日
北海道テレビ放送株式会社

①

「錦鯉が行く!のりのり散歩」に見る レギュラー番組立ち上げの経緯と全国展開

■番組概要



2022年4月30日(土)放送開始
毎週土曜ごご1時26分～ 30分番組
出演者: 錦鯉(長谷川雅紀・渡辺隆)
田口彩夏(HTBアナウンサー)

■全国展開の状況

- ・自社動画配信サービス「**hod**」 毎週土曜の放送終了後、**1週間の見逃し配信**→その後有料化
- ・動画配信サービス**U-NEXT**で**全国へ配信**
- ・番組販売による放送エリア 山口エリア、秋田エリア、福岡エリア、山形エリア、愛媛エリア、有料CSによる全国放送(2023年3月現在)
- ・上記放送エリアのうち「**福岡**」へ**出張ロケ**を実施→2023年3月に**北海道と福岡で福岡編をそれぞれ放送**

約20年前情報番組「夕方Don!Don!」で長谷川雅紀さんがリポーターに
その後、**人気芸人を目指して上京**

約10年前深夜バラエティ「帰省なう」で長谷川雅紀さんの札幌帰省と
10年ぶりのお母さんとの涙の再会を放送

錦鯉結成、2020年のM-1グランプリで決勝進出

2021年錦鯉のM-1優勝を信じ**北海道ローカルの単発番組を7本制作**
(60分1本、30分×3回を2シリーズ)

2021年末、錦鯉**M-1グランプリ優勝**
2022年4月からの「**錦鯉が行く!のりのり散歩**」**レギュラー化**を決定

② 開局55周年ドラマ「弁当屋さんのおもてなし」に見る ローカル局が手掛ける持続可能なドラマ制作

■番組概要



2/25(土)～3/18(土)
10時40分～11時10分
30分×全4話

出演: 久保田紗友
飯島寛騎
戸次重幸 ほか
原作: 喜多みどり
「弁当屋さんのおもてなし」
KADOKAWA刊

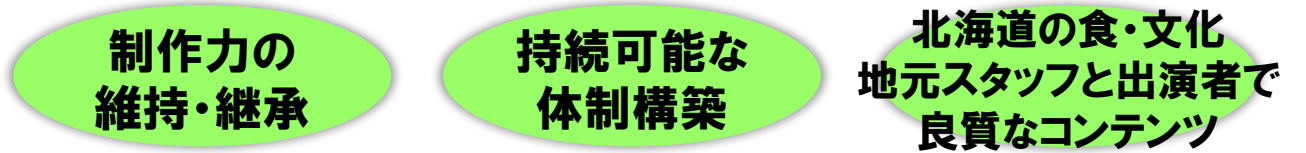
札幌出身

■全国展開の状況

- ・自社動画配信サービス「hod」各話の放送終了後、**有料配信**
- ・全4話の放送終了後、動画配信サービス**Netflix**で**全国へ全話一斉配信**
- ・放送エリア外への番組販売を鋭意展開中

HTBのドラマ制作

1996年～**HTBスペシャルドラマ**(基本的に年1本)
2018年開局50周年「**チャンネルはそのまま!**」民放連盟賞グランプリ



編成局・報道情報局を中心に制作スタッフを招集
(脚本・助監督等)一部で外部の助力を得ながら**自社制作**

使用頻度の低い**自社スタジオ内にセットを構築**
全社営業が一丸となったセールスで**利益の最大化**
CHEF-1GP初代チャンピオン下國伸シェフが料理監修

各話ごとの弁当にちなんだ「**コラボおにぎり**」を**全道で販売**

③ ローカル局のコンテンツ制作で心掛けていること

- ①「錦鯉が行く！のりのり散歩」
- ②開局55周年ドラマ「弁当屋さんのおもてなし」

→いずれも全国配信を主目的にした作品ではなく、**地元の視聴者に愛される**ことを目指した作品
→**地元の魅力に誇り**を持ち、多くの人に知ってもらいたい気持ちが自然と全国で受け入れられる作品に

- ・売れない若手芸人だった長谷川雅紀さんと20年以上寄り添い続けた**人起点での番組作り**
- ・2021年CHEF-1優勝の下國伸シェフに情報番組レギュラー出演いただいたことでドラマの料理監修に全道のコンビニエンスストアでの「ドラマコラボおにぎり」発売へつながる**立体的な展開**
- ・出演者が自社番組同士で**相互に出演**することで**全体をPR**

ローカル局だからこそその小さな社内、各所で**個々に動いている事案を丁寧に拾い結びつける社内プロデュース能力**がローカル局ならではのコンパクトなコンテンツ制作に

④ HTBのネットおよびデジタル展開

地上波コンテンツ



ローカルニュース



情報生番組(朝/夕方)



視聴者向けイベント



マスコットキャラクター

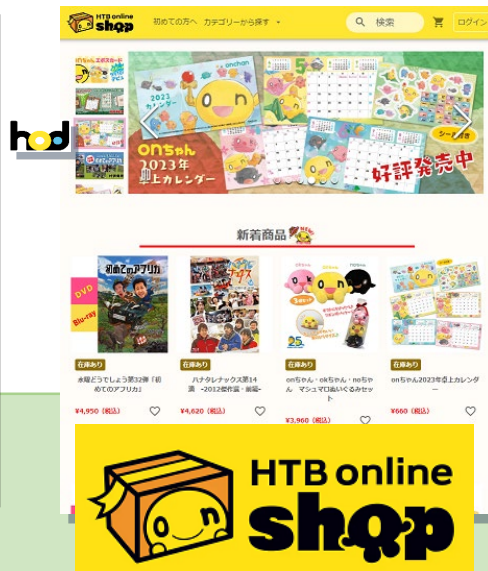


自社制作バラエティー番組

コンテンツ配信



グッズ販売



イベント・演劇・エンタメ



自社アプリ



2020年より
南海放送様販売の
放送局アプリを
カスタマイズ導入

(2023/3時点 20万ダウンロード)

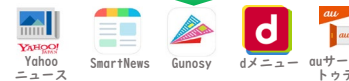
ネット配信 YouTube



Webメディア



国内大手ニュースメディア・アプリへ
ニュース提供、連携



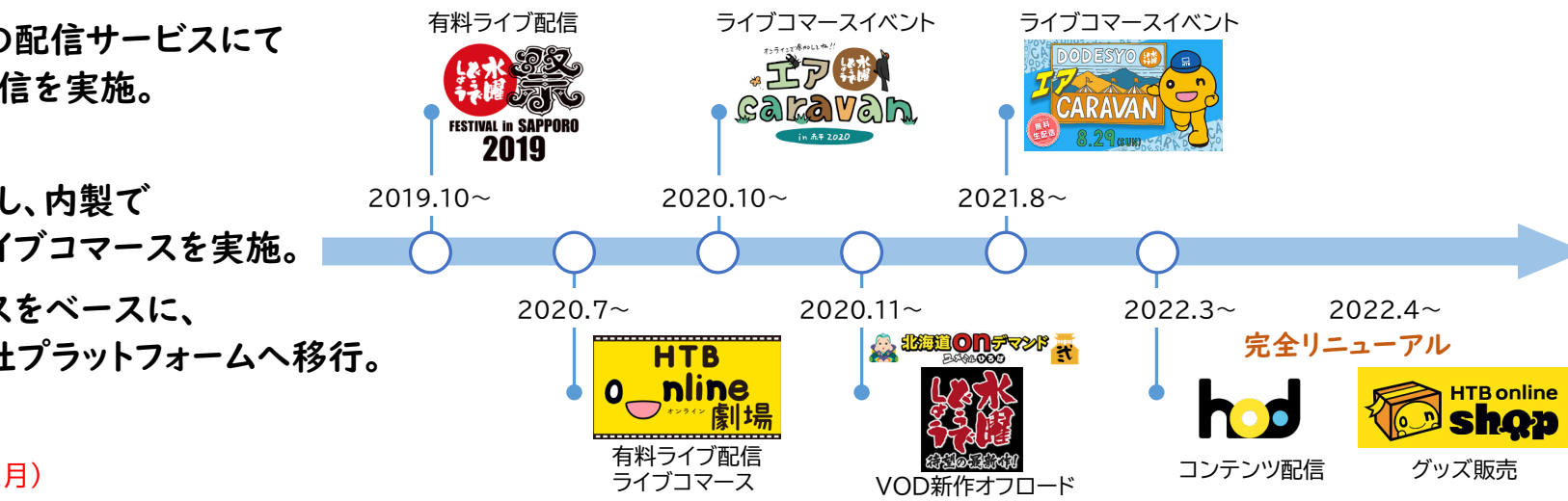
自社プラットフォーム ViEWS-on

放送を軸にVOD、EC、イベント配信、アプリ、WEBメディア等でマルチモール展開

⑤ 自社プラットフォームによる番組配信

- ・2012年より外部事業者の配信サービスにて
自社番組の有料／無料配信を実施。
- ・2019年頃から、
クラウドサービスを活用し、内製で
イベントの有料配信や、ライブコマースを実施。
- ・2022年、クラウドサービスをベースに、
動画配信とECサイトを自社プラットフォームへ移行。
毎月の運用経費を圧縮。

(旧システム 2012年～2022年2月)
外部事業者サービス



- ①2020年、内製化のため、送信およびマスターの一部社員をAWS・クラウドを扱うエンジニアに転換。
- ②開発人材確保・維持のため、従来からの一陸技無線資格手当に加え、AWS資格取得時の報奨金制度を新設。

⑥ YouTube配信の取組み



HTB北海道ニュース

チャンネル登録者数 16.3万人



北海道ニュース24

道内局初の24時間ニュース配信を実現
北海道で起きた事件・事故、政治、経済、
自然災害など日々の出来事を動画配信。

緊急時にはLIVE配信

ニュース24を緊急時には事件・事故
現場から生中継に切替え。コロナ感染
拡大時には緊急会見を臨時生配信、
道民に最新情報を提供。



ニュース24 weekend

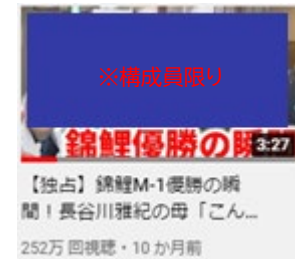
報道部記者チームが北海道のニュース
1週間分を振り返り、独自に深掘りし解説
記者の声や現場でのエピソードを生配信。



HTB公式チャンネル

チャンネル登録者数 13.9万人

放送番組から切出し 地上波番組コラボ 配信オリジナル



配信後 地上波でもオンエア



地元スポーツのLIVE配信



イベント / ネット配信企画のLIVE配信

